

7月イベント紹介



マツタ安全衛生協議会の合同部会活

動(富海海水浴場清掃活動) 9月6日(土) ※6名で参加

当日は、湿度の高い曇天でしたが幸い雨は降りませんでした。砂浜にはプラスチックゴミ、漁具、金属スクラップ、流木等の様々な物が漂着していて驚きました。特に中身の入ったペットボトルは想像を絶する臭いを放っていて思い出しただけでも気持ちが悪くなります。気を取り直して作業し、集めたゴミをみんなで分別して活動を終え、砂浜はとても綺麗になりました。今後海水浴場を利用する際は、事前に掃除をされた方がいらっしやる事を思い、浜や海を汚さないよう心掛けたらと思います。(西田)



村田株式会社 0835-22-3205

献血活動に協力 9月4日(木)

御近所に位置するロテック防府工場様に献血バスが来訪し、弊社からも有志5名がこの社会貢献活動に参加しました。医療現場における血液の重要性を改めて認識し、少しでもお役に立てればと協力させていただきました。これからも継続してこのような活動に参加し、地域の皆様と共に安全で住みやすい社会の実現に向けて努力してまいります。(社長)

毎年恒例の鰻弁当

9月24日(水)

夏バテ防止や疲労回復に効果抜群の鰻は、ビタミンA・B1・B2・D・E、ミネラルの亜鉛・カルシウムが豊富で、この脂質部分にはDHA・EPAも豊富に含まれている栄養価の高い食材です。土用の丑の日に、社員みんなが鰻弁当を頂くことで、心身両面の活力を漲らせ、一層の業務に取り組みますので、本当に有り難いことだと感謝致します。今後心と身体の健康を第一に公私ともに様々なことに取り組んでいきます。(小山)



防府大満宮七夕まつり 7月1日~7日 駐輪場警備・誘導のお手伝い 9月6日(土)・7日(日)

猛暑の中でも多くの人でにぎわうお祭りの会場で2日間、6名(各3名ずつ)がお手伝いしました。私は鬼屋さんの駐輪場(臨時駐輪場)を担当しました。天満宮から少し遠いこともあり、2台ほどしか駐輪する方はいらっしゃいませんでしたが駐輪場の場所を聞かれることが多く、最初は上手に説明できませんでした。だんだん慣れてきて、慌てず冷静に受け答えすることが出来たので良かったです。お手伝いするのは初めてだったので、上手く誘導できるか不安でしたが、先輩方の丁寧なご指導のおかげで、落ち着いて動くことが出来ました。次回、参加するときには今回以上にキチキチ誘導できるように頑張りたいです。(小川)



妊婦・高齢者疑似体験キットを用いた研修を実施

弊社では、人の立場に立つて物事を考える人(・思いやりをもつ・相手の意見を聞き、客観的に考える・自分がされて嬉しいことは、相手にも)を育成するため、様々な研修やボランティア活動を行っています。今回の研修では、妊婦体験用のジャケットや高齢者体験用の装具を装着し、日常の動作や移動の困難さを体感しました。社員同士が体験を共有することで、お互いの理解が深まり、より協力的な職場環境が醸成されたと考えています。また、この研修を通じて、社員一同が他者への思いやりを持つことの重要性を再確認し、日々の業務や人間関係に活かしていきたいことを期待しています。



今後も、社員の成長と社会貢献を目指し、様々な研修やボランティア活動を行ってまいります。

最後にこの研修に参加した社員の感想を紹介し、研修の意義と成果をお伝えします。

## 妊婦疑似体験

・妊婦さんは、色々と制約を受けるので大変だと思います。そして大変な思いをして産まれた子供を虐待するなんて信じられません。(橋本)

・18年前に育児教室でつけて以来の装着でした。その時は大変なあのくらの感想だったと思いますが、この度は装着して歩いてみると妻の顔が思い浮かんで様々な思いが出がでてきて苦労を想像すると涙がでそうでした。年を重ねて涙もろくなっただなあと思います。妊婦さんとお会ったときはこれからも配慮してあげたいと改めて思いました。(福原)

・妊婦経験者としては大分近いものはありました。ただお腹が重いだけでなく、人によっては腰痛や身体の管理、お腹の子を守りながらの日常生活、色々ありますが、お腹に大きなものを抱えての体験が誰でも出来るように、良いことだと思います。(橋本)

・藤村さんとペアで行いました。体の動きが制限されしゃがむ、登る動作がどうしてもつらい感じでした。下が完全に見えない訳ではなく、多少の視界は確保出来ました。(西山)

## 高齢者疑似体験

・お腹が重たくなり日常的な動作が難しく感じました。私の母親を含めて世の中のお母さん方はこのような苦労を経て出産されているのだなと考える頭の下がる思いでした。母にもっと感謝をしないとけないなと改めて思いました。(桑原)



・妊娠中は、トイレや寝る時が大変だと感じました。階段の上り下りの際、足に負担がかかるだけでなく、下が見えづらい事が、怖いと感じました。実際の母親は、胎児の事を常に考えながら慎重に行動しないとけないのが、精神的にも大変だと感じました。(藤村)

・まだ実際に妊娠の経験がないので、どのくらいの辛さなのか想像つきませんでした。重りを増やしていくと、階段の上り下りや落ちた物を拾ったりするときに、足腰の負担が大きくなり感じましたが、実際に妊娠した時に、お腹に胎児がいることを考えながら生活しないとけないので、疑似体験を通して、妊娠の大変さを知ることができ、良い勉強になりました。あそびたいと思います。(小川)

・もつとして私もなるのかと思うと不安な気持ちになりました。特に気になったのは、視野が狭くなる黄色がかりぼやけて見えるようになる美しい景色等がそれなりに見える様になるのかと心配です。(橋本)

・装着の説明書がありませんでしたのでYouTubeを見ながらやってみました。重りをつけるので動きにくく、姿勢は悪くなり、視野は狭くなって黄色い世界になり、本道にこんな感じなのか、年を重ねるのが怖いと思いました。しっかり体力つくりをして健康に過ごしたいと強く思いました。貴重な体験ありがとうございました。(福原)

・思うように身体が動かすことが出来ない、むずがゆさがありました。手足がスムーズに動かさないのはこんなにも不便な生活なのか、と感じました。少し前まで元気だった祖父も今は杖をつけて歩くのがやっとです。ほんの少しかも知れませんが、祖父の気持ちが分かったように思います。妊婦の方や高齢者に限らず困っている方に出会ったときは積極的に手を差し伸べようと改めて思いました。(橋本)

視界も限られて全体的に動きが制限され、とても不自由に感じ、年齢を重ねると誰しも同じ状態になるのでお年寄りには親切にしないとけないと改めて思いました。(桑原)

・視野が狭いため階段の上り下りが大変でした。物を取る際も関節が曲げづらい不便に感じました。杖を使うのが初めてだったので、なかなか活用しづらかったです。疑似体験させて頂きありがとうございました。(藤村)

・関節の動きが固く、視野が狭い事もあり、杖に頼らざるをえませんでした。裸眼で視力が悪い事もあろうように歩けません。(西山)



・重りを付けて、杖で歩く際に、ゴールをつけていたので、視界が悪くなり、とても歩きにくいと感じました。実際に年を取ると、普段何気なくしている行動が難しくなり、足腰の負担が大きくなり、日常生活が過こしくなると思います。疑似体験を通して、高齢者の大変さを知ることができ、良い勉強になりました。ありがとうございました。(小川)

## ～編集後記 藤村～

7月23日、去年の社員旅行で韓国・釜山を訪れた際、夕食をご馳走して下さった社長の知人が、友人4人と日本に遊びに来られました。ViDeN(野島)にご宿泊でしたので、中庭にてBBQでおもてなしをしました。賑やかな日韓親善懇談会さん会、あっという間に時間が過ぎた楽しい会になりました。また、皆さんとお会い出来る日を楽しみにしています。

## ViDeN公式LINEアカウント

お得な情報を受け取るには  
QRコードをスキャンして  
「友だち追加」よろしくお願ひ  
ます!

